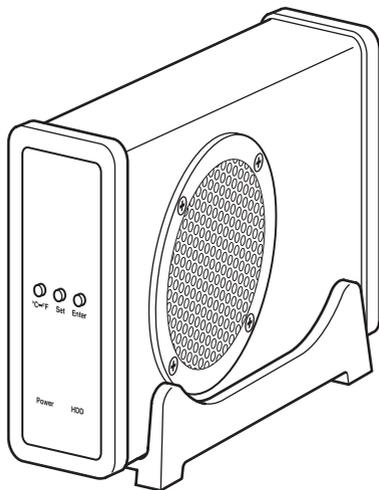


二代目冷やし系HDD検温番 USB3.0+eSATA

CLS35EU3BF 取扱説明書



【はじめに】

このたびは「二代目冷やし系HDD検温番USB3.0+eSATA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

- 煙が出る、異臭がする、異音ができる
煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。
- 不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。
- 電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。
- 電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上には機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。
- 雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。
- めれた手で機器に触れない
めれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

- 設置場所に関する注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
 - ・ 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
 - ・ 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびきのかかるところ
 - ・ 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
 - ・ 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
 - ・ 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
 - ・ 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
 - ・ 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
 - ・ 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
 - ・ 直射日光のあたるところ
- 長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。
- 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。
- 小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。
- 静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	4
■ HDDの組み込み方法	5
■ PCとの接続方法	11
■ 電源スイッチとファンスイッチ	12
■ 温度表示/ファン回転数表示機能について	13
■ 領域の確保とフォーマット	15
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	15
・ Windows XPの場合	21
■ ハードウェアの取り外しについて	25
■ Macでの使用方法	27
■ トラブルシューティング	29
■ サポートのご案内	31

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品はSATA HDD専用です。パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。

【ご使用前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・Windowsは Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Macは Apple Inc. の登録商標です。
- ・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【製品仕様】

型番：CLS35EU3BF

商品名：二代目冷やし系HDD検温番USB3.0+eSATA

インターフェイス：デバイス側…SATA I / II / 1.5Gbps / 3Gbps

ホスト側…【USB】 USB3.0 【eSATA】 SATA II 3.0Gbps

USBコネクタ形状：Standard Bタイプ

寸法：幅73mm×高さ132mm×奥行195mm（スタンド含む、突起部含まず）

重量：約560g（スタンド含む、ドライブ含まず）

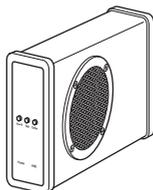
温度/湿度：温度5～35℃ / 湿度20～80%（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）

ACアダプター仕様：入力…100～240V 0.8A、出力…12V 2A

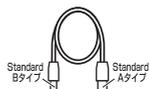
※ 本製品にHDDは付属しておりません。

【製品内容】

- CLS35EU3BF本体
- 専用スタンド
- 専用USB3.0ケーブル
（Standard A-Standard Bタイプ）
- 専用eSATAケーブル
- 専用ACアダプター
- HDD固定用ネジ（×4）
- 温度センサー貼り付け用テープ
- 取扱説明書/保証書（本書）



CLS35EU3BF 本体



専用USB3.0ケーブル



専用eSATAケーブル



専用ACアダプター



専用スタンド



HDD固定用ネジ
（×4）

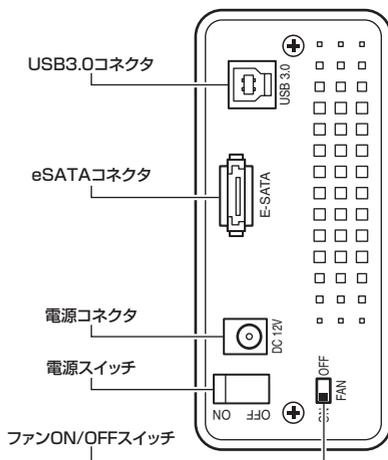
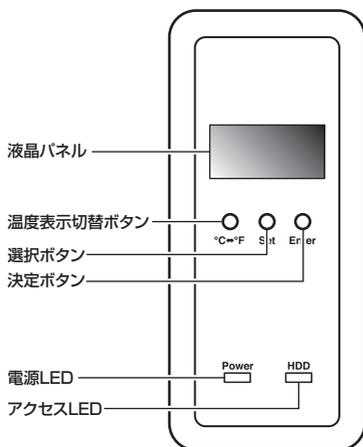


温度センサー
貼り付け用テープ



取扱説明書/
保証書

【各部の名称】



【対応HDD】

■ シリアルATA (SATA I / II)仕様の25.4mm厚3.5インチHDD (3TB対応)

※IDE (PATA) 仕様のHDDは接続できません。

※2.5インチSSDに変換アダプターを取り付けての使用等、変換アダプターを介しての使用はできません。

【対応機種】

〈eSATA接続〉

eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機またはMac

〈USB接続〉

■ Windows

- ・ USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・ USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・ CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller搭載PCIは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

●動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

センチュリー	CIF-USB3P2
バッファロー	IFC-PCIE2U3
ラトックシステム	REX-PEU3

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0 (480Mbps)になります。

■ Mac

- ・ USB2.0インターフェイスポートを搭載したMacPro, iMac, MacBook, MacBookPro

※PowerPC搭載のMacintoshは動作保証外になります。

※Macで使用する場合は、USB2.0 (480Mbps)での接続になります。(2011年5月現在)

【対応OS】

〈Windows〉

■ Windows 7 (32bit/64bit) , Windows Vista (32bit/64bit) , Windows XP (32bit SP3)

※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT / Windows Me / Windows 2000では動作しません。

〈Mac〉

■ Mac OS 10.5.8、10.6.7 (2011年5月現在)

本製品からのOS起動に関して

本製品はeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動方法に関してはeSATAホストカードの取扱説明書をご確認ください。USB接続でのOS起動はできません。

SATA HDDの取り扱いについて

HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。

SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されています。

この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

※ 製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

【HDDの組み込み方法】

■ HDDを接続する前に



警告 ・HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■ 組み込みの前に

- ・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。



注意 ・フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

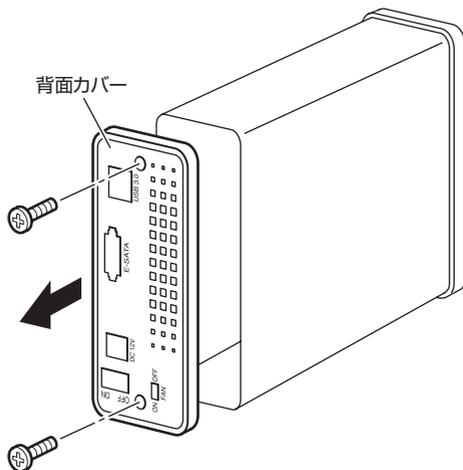
※注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。

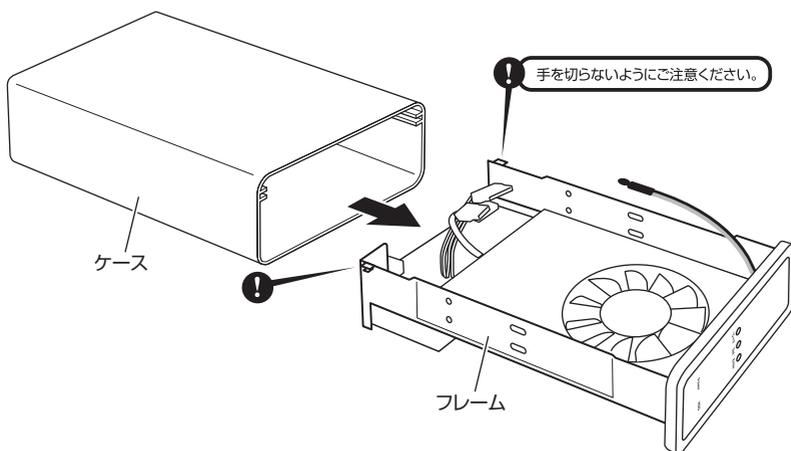
※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDの取り付けはできません。

■ HDDの取り付け方法

1. ケース後部のネジ2本を外し、背面カバーを取り外します。



2. ケースからフレームを取り外します。

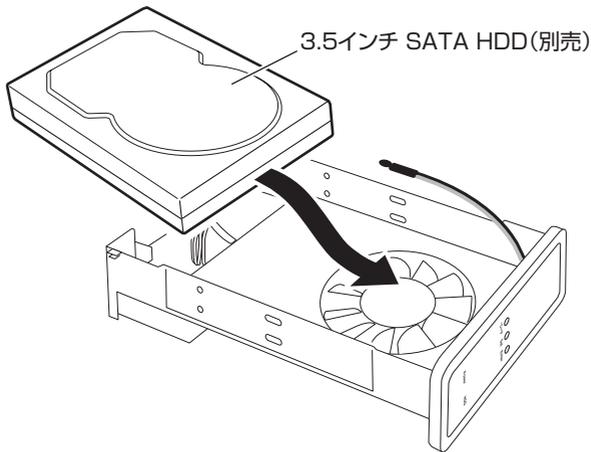


⚠ 注意 ・ 本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDDの組み込み方法】

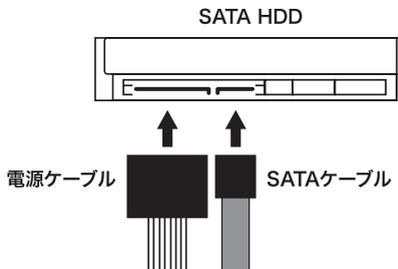
3. HDDにSATAケーブル、電源ケーブルを接続し、フレームに取り付けます。

※ケースにHDDをネジ止めする前に各ケーブルを接続しておいてください。



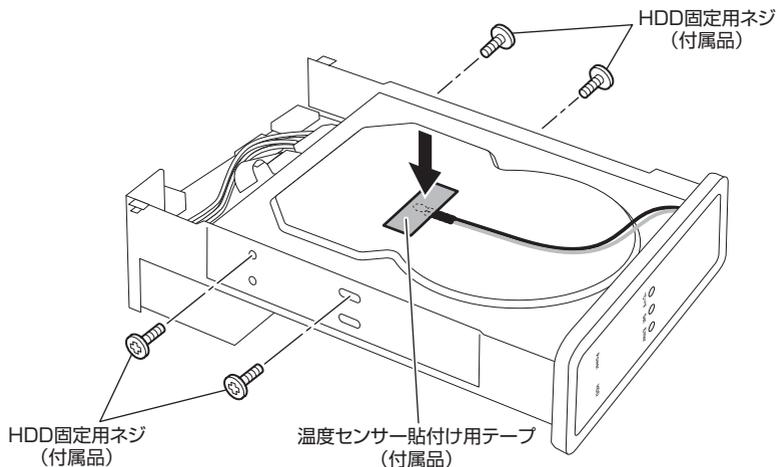
■ HDDに電源ケーブル、SATAケーブルを接続する際の注意

SATAケーブルおよびSATA HDD用ケーブルは構造上、逆差しができませんようになっておりますが、精密機器ですので接続には十分ご注意ください。



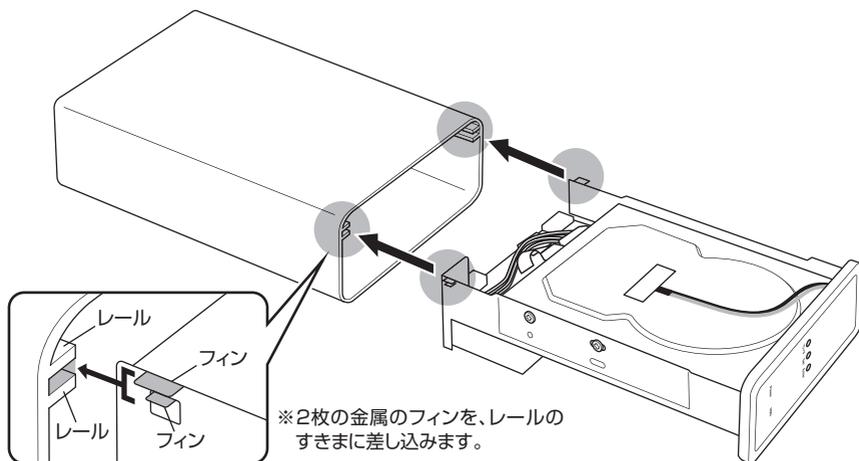
※SATAケーブルはあまり折り曲げずに接続してください。

4. HDDを付属の固定用ネジで止め、温度センサーを貼付け用テープでHDDに固定します。



5. ケースにフレームを差し込みます。

差し込む際はケースの向きにご注意ください。ケースのファン吹き出し口とフレームのファンの位置が一致するように差し込まないと、ファンの冷却効果が正常に発揮されません。



※フレームの両側に付いている金属のフィン（図参照）を2枚とも、**ケース内側レールのすきま**に差し込みます。

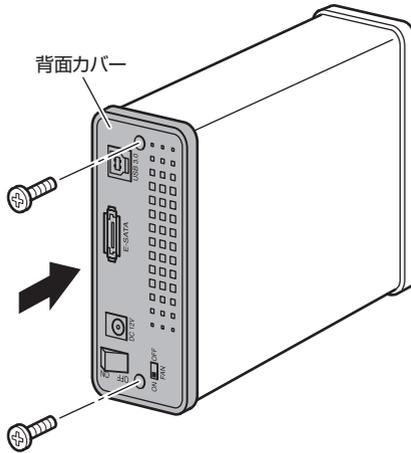


警告

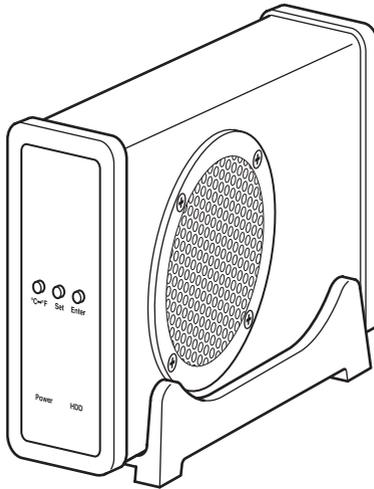
・正しく接続しないと基板面がケースに接触してショートを起こし、基盤や接続したHDDを破損するおそれがあります。

【HDDの組み込み方法】

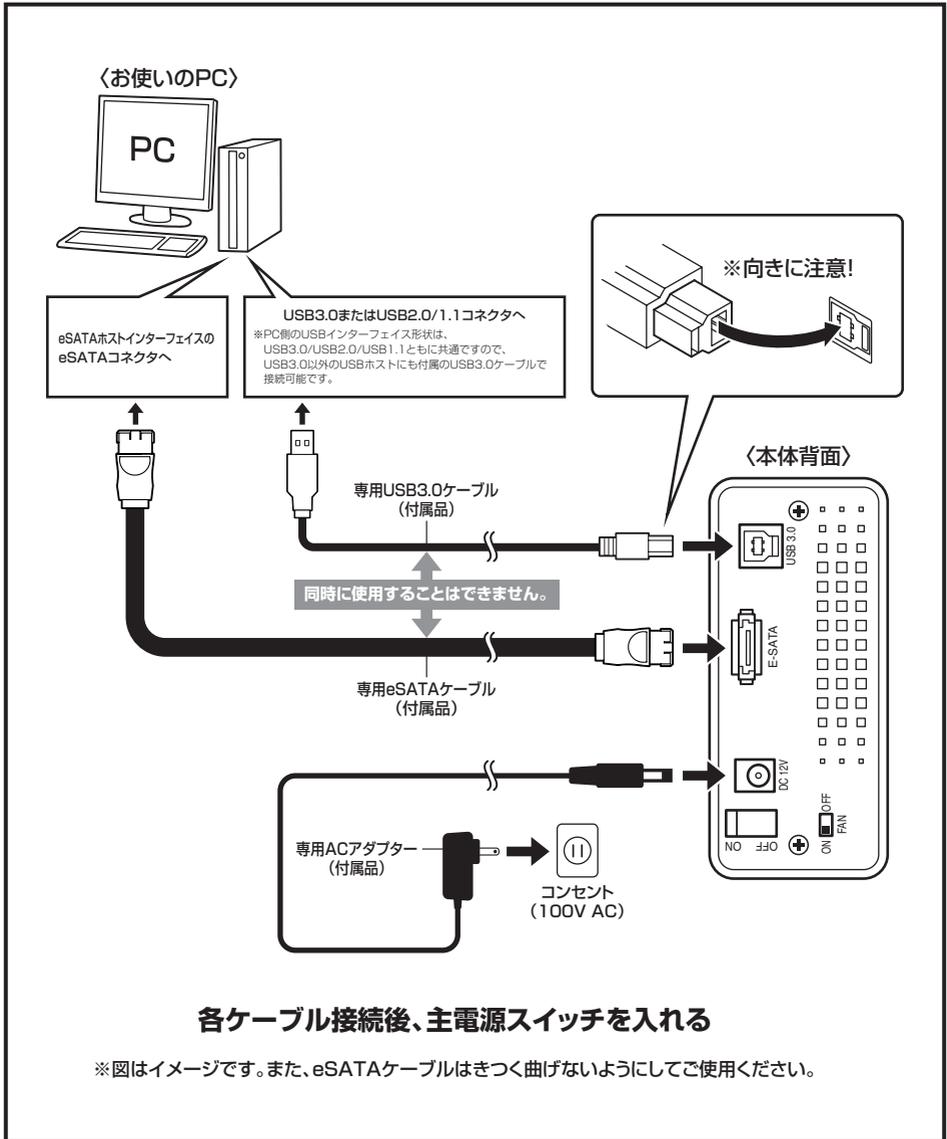
6. ケース後部に背面カバーをネジ止めします。



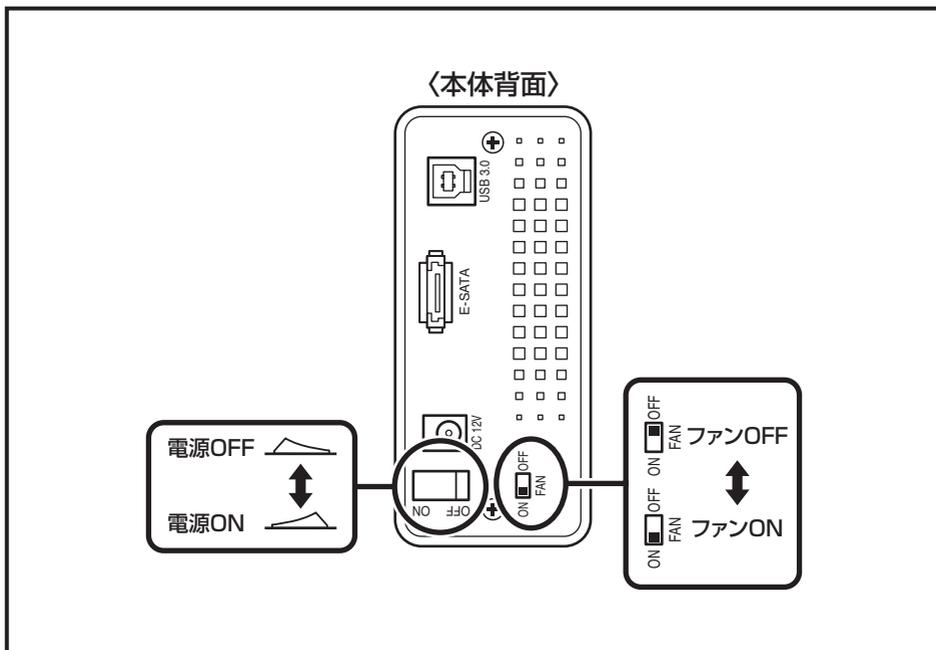
7. スタンドを取り付けて完成です。



【PCとの接続方法】



【電源スイッチとファンスイッチ】



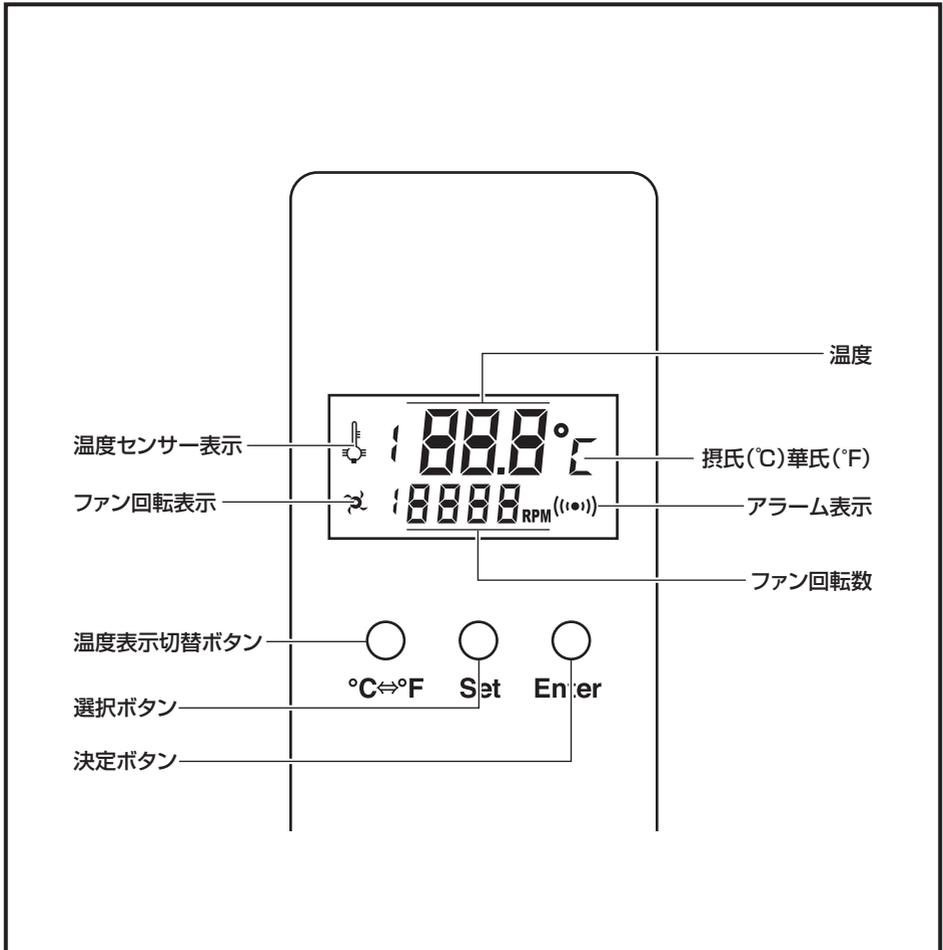
※ファンは常時「ON」の状態でお使いください。

OFFにするとファンの回転を止めることができますが、ファンの冷却効果が正常に発揮されません。

【温度表示/ファン回転数表示機能について】

■ パネルの説明

HDDに貼り付けた温度センサーからHDDの現在温度を読み取り、前面液晶パネルに表示します。



- ・ 温度表示：センサーから読み取った温度を表示します。
温度表示切替ボタン（ $^{\circ}\text{C} \leftrightarrow ^{\circ}\text{F}$ ）を押すことで摂氏と華氏を切り替えることができます。
初期設定は摂氏（ $^{\circ}\text{C}$ ）です。
- ・ ファン回転数：1分間に側面の冷却ファンが何回転しているかを表示します。
- ・ アラーム表示：温度アラーム設定（次ページ）で設定した温度を越えると点滅します。

■ 温度アラームの設定

指定した温度に達した場合にアラームが鳴るように設定することが可能です。

1. 【決定ボタン (Enter)】 を押すと液晶に現在の設定温度 (点滅) が表示されます。
2. 設定温度が表示されている状態で【選択ボタン (Set)】 を押すと、設定温度が1回押すごとに5度ずつ上昇しますので、アラームを鳴らしたい温度に設定します。
※温度は30℃～70℃に設定可能です。
※アラーム設定温度を低く設定するとファンの回転数が高く、温度を高く設定するとファンの回転数が低くなります。
3. 【決定ボタン (Enter)】 を押すとその温度に設定され、通常の温度表示画面に戻ります。

初期設定温度は60℃です。また、電源を切るとアラーム温度は初期設定に戻ります。

★ HDDが設定温度に達すると？

- ① 液晶画面に警告表示が表示されます。
↓
- ② アラームが鳴ります (15秒間)。
↓
- ③ 設定温度を越えた状態がそのまま維持されると、30秒後にまたアラームが鳴ります。
↓
- ④ 温度が低下するか、設定温度を変更するまで繰り返しアラームが鳴ります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□ Windows 7、Windows Vistaの場合

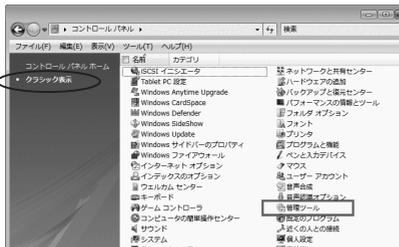
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】 (Windows 7)

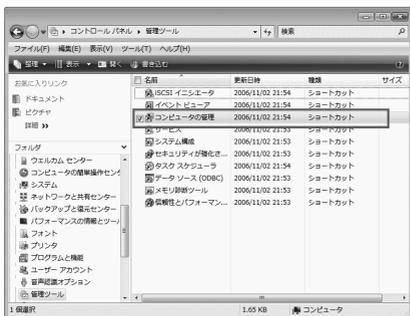


【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



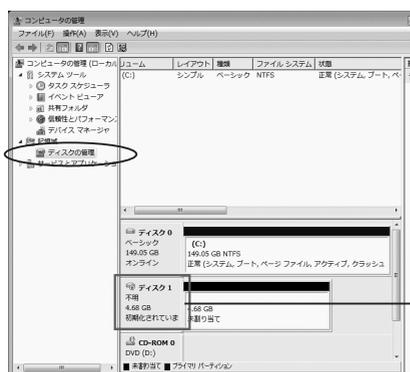
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。

続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

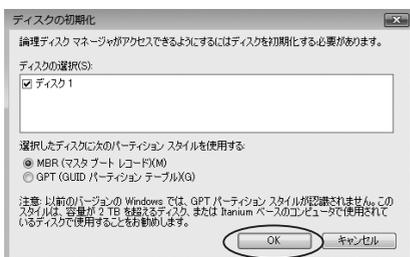
3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

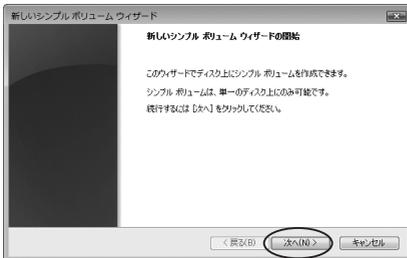
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

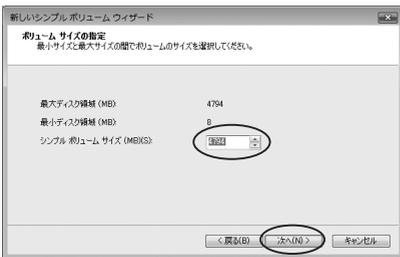
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



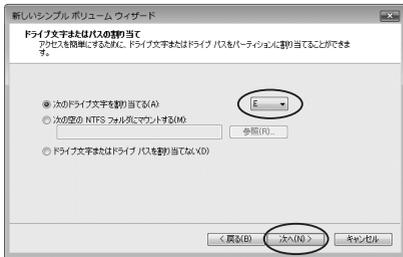
【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

8.



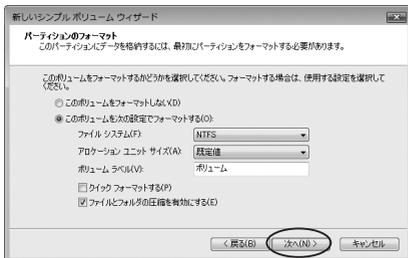
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- ・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- ・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

- ・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- ・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

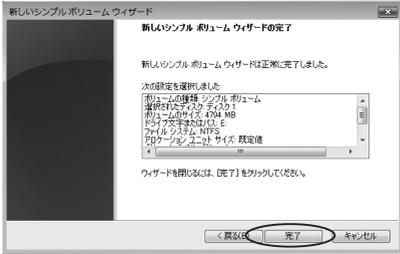
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

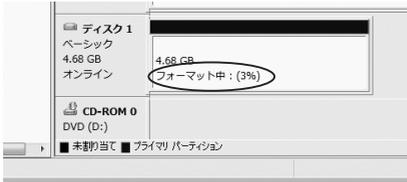
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されま

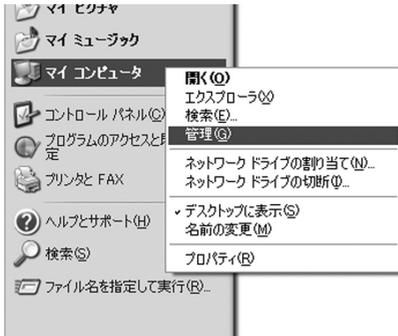
す。フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

【領域の確保とフォーマット】

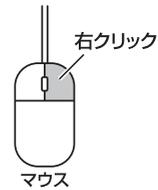
□ Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

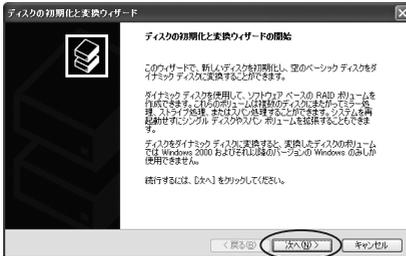
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

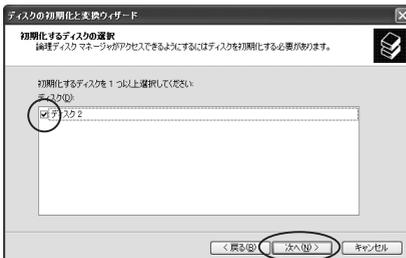


2.



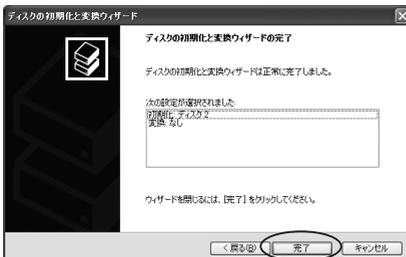
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



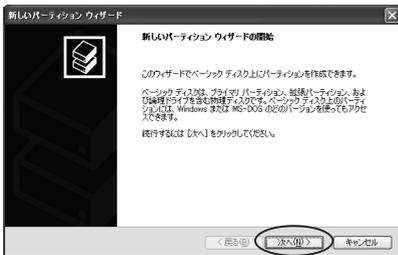
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



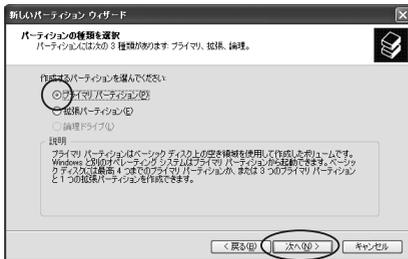
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P)...」を選択します。

6.



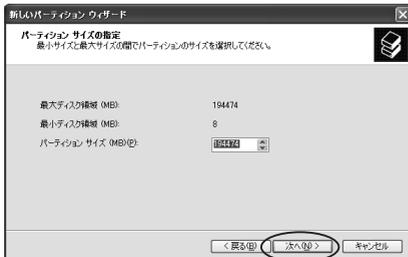
「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

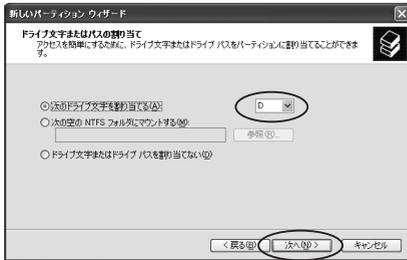


「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

【領域の確保とフォーマット】

9.



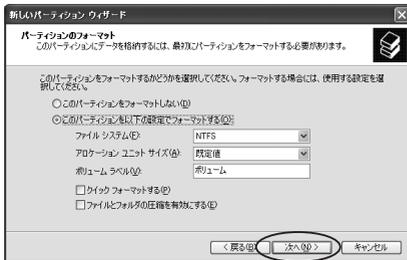
【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

・アロケーションユニットサイズ

アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・ボリュームラベル

「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

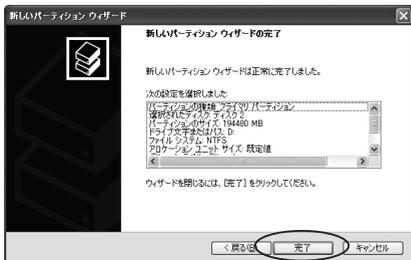
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。

ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。

詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

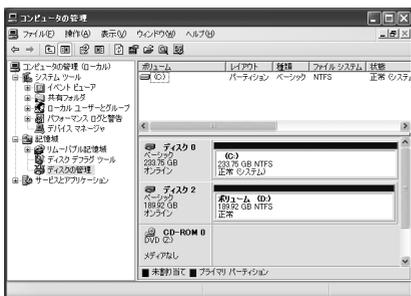
すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

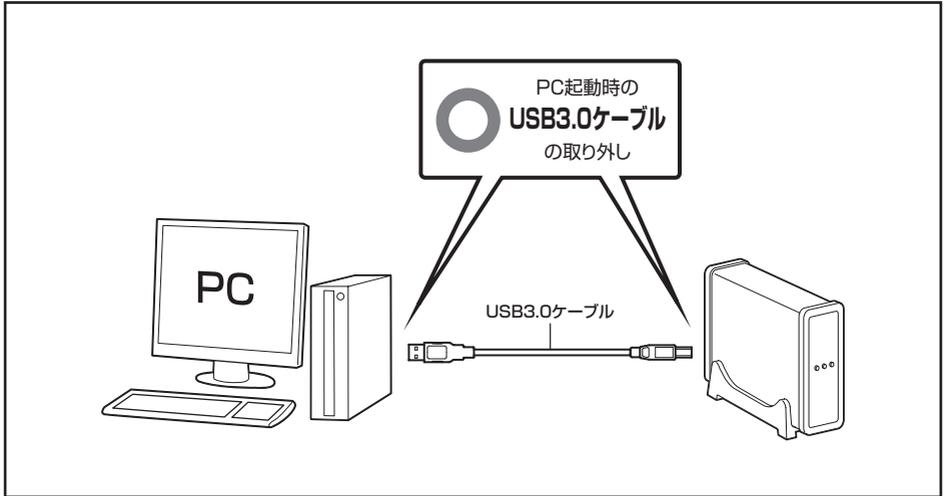


フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。



1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。
 - Windows XP …… USB大容量記憶装置デバイス
 - Windows Vista …… USB大容量記憶装置
 - Windows 7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge
2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。

「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

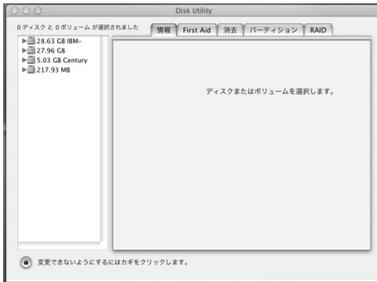
【Macでの使用方法】

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMacOS9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。

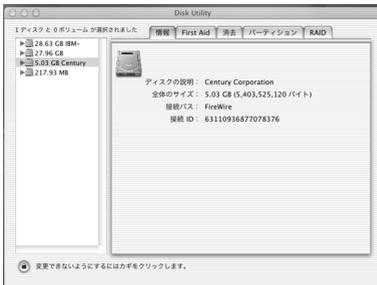
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

本製品は「xx GB Jmicron Corp. Media」と表示されます。

(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。

8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準がMacOS拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

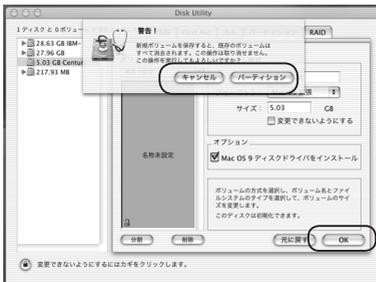
削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。

警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■ 認識されない

以下をお試しください。

- ・ USBコネクタ、eSATAコネクタが正しく接続されているかを確認する。
- ・ パワー／アクセスLEDが点灯しているかを確認する。
- ・ PCによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、USBコネクタ、eSATAコネクタを接続しなおしてみる。

■ 新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- ・ Windowsでお使いの場合→P.15【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- ・ Macでお使いの場合→P.27【Macでの使用方法】をご確認ください。

■ スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイには対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■ すでにデータの入ったHDDを接続したが、マイコンピュータにHDDアイコンが表示されない 内蔵専用のダイナミックディスク形式や特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。

この場合は元の装置にHDDをもどし、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDDの初期化を行ってください。

■ WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本機のHDDが表示されない

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。

詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■ USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

■ eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

eSATAのホストアダプターの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプターの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ 2TBを超えるRAIDボリュームを初期化しようとするると2TBで分割されてしまう (Windows Vista / Windows 7)

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。

GPT形式にて初期化することで、2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなはら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.